

# 常任委員会行政視察報告

## 総務企画委員会

◆視察月日 8月26日～28日

◆視察市 愛知県大府市

愛知県西尾市

◆視察項目

庁舎建設について  
洪水避難計画について

愛知県大府市は、名古屋市に隣接するベッドタウンで、かつ人口増加率は全国屈指である。輸送機器を中心に活力のある産業が底支えしている。

西尾市は、名古屋市から電車で40分程の10万都市である。アイシン精機など輸送関連を中心とした工業都市である。

いずれの市も能代市とは経済基盤が異なり安定的成長を続けており、人口においても増加している。そこで、新庁舎建設のコンセプトが同じとは言えず、まずは参考のためにさまざまな技術を学ばせていただいた。免震構造でビルそのものが宙に浮いており、予想される東海地震への対応がなされている。ひとにやさしい庁舎・インテリジェント化・シンボルとなる・効率的行政運営推進・防災の拠点・市民サービスの向上などの庁舎建設理念は、資金力の弱い

能代市にとっても参考になるのではない。

新庁舎の中に、最新の防災システムを備えた防災センター室があり、独自の対策を取っている。ただ、大府市においては、平成12年9月の東海豪雨が未曾有の被害をもたらした、その経験が避難計画に生かされている。

1時間で100ミリ、総雨量で600ミリもの豪雨に都市が見舞われたら、市は何ができるのか、何をしたらよいか、明確な答えはないが、他市の経験は本市でも生かすことができる。

災害対策も新庁舎建設も、経済の元氣と市民の元氣が必須である。

(薩摩)



大府市庁舎前にて

## 建設委員会

◆視察月日 8月27日～29日

◆視察市 石川県小松市

富山県高岡市

◆視察項目

都市計画マスタープラン  
都市計画マスタープラン  
川辺町住宅建替事業について  
蓮花寺市営住宅建替事業  
耐震改修促進計画

### 都市計画マスタープランについて

都市の将来像とその実現方策を体系的に示す基本的な計画が都市計画マスタープランである。

人口10万9074人の小松市は都市計画マスタープランの見直しを進めている。平成10年度「小松市都市計画マスタープラン」を策定し、まちづくりを進めてきたが、少子高齢化や環境の変化に対応するための見直しを行っている。概ね20年後の平成37年を目標年次としており、学識経験者、公募した市民の代表、行政代表などから構成されるまちづくり懇話会、市庁内の関係者で構成するワーキング会議や検討委員会で進められている。広域的な観点から都市の将来像を描いた「全体構想」と域内ごとに分けてまちづくりの方策を定めた「地域別構想」から構成されている。

### 市営住宅建替事業について



高岡市議会議事堂前にて

高岡市市営住宅建替事業（鉄筋コンクリート造5階建て）は、平成16年1月PFIの導入について検討していた。高岡市は、PFI事業方式で行っており、施設の維持管理及び運営を民間事業者任せにしないBT方式を採用。入札価格は、7億9980万円（消費税抜き）で、従来型事業費概算は、9億543万5000円となることから従来型の整備手法と比較してPFI方式で実施した方が公共資金を効率的に活用できるとしており、この効率性に関する比較評価の指標値であるVFM（バリューフォーマネー）は6・48パーセントとなっていた。なお、付属施設は集会場や駐車場、駐輪場、外部物置、児童遊園となっていた。

(渡辺)